



My Miracle

私の小さな奇跡

大橋 謙一

今まで振り返ってみて、
「大きな不幸と思われることが、
実は大切な
人生の曲がり角であった」
と思われてならない。

三浦綾子

(明日のあなたへ)

0.0076 の奇跡

0.0076%の奇跡を信じることができますか？ 私の存在は、その奇跡です。0.0076%は、日本の人口に対してプロテスタント牧師の割合です。細かいことを言うと、私はその0.0076%しかいない牧師の子どもとして生まれました。普通ではありません。だから「私はなんて不幸な星のもとに生まれてきたのか」と子どもの頃はずっと思っていました。それが、イエス・キリストを信じたときから、「私は何て恵まれているのか」と思えるようになりました。

日本では珍しい牧師家庭に生まれ、

物心ついたときには、自分は教会の模範、クリスチャンの模範とならなければならぬというプレッシャーを感じていました。良いことをしても模範になりませんが、悪いことをすれば「牧師の子どもでもあんなことをしているのだから、うちの子もいいよね。」という模範になるのです。もちろん、それは私が勝手に想像していたプレッシャーで、教会のみなさんは私のことを愛してくださっていました。

そのようなプレッシャーの中で、私は教会では良い子を装い、かげでは不良仲間と悪さばかりしていたのです。万引きをしては、その商品を友だちに売って、売ったお金でゲームセンターに通いまし

0.0076 の奇跡

た。父の財布からもお金をかすめていました。当時のゲームセンターは、半地下のような暗い部屋に、たばこの煙が充満しているようなところでした。

中学一年のお正月、私は万引きで捕まりました。父親の職業を聞かれ、答えることをためらう自分がいました。そして、我に返ったのです。

その年の春、中学生のキャンプがあり、神様は私に語りかけてくださいました。「あなたがたがわたしを選んだのではなく、わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命しました。それは、あなたがたが行って実を結び、その実が残るようになるためです。」(ヨハネ 15:16)

私はなんて不幸な星のもとに生まれて

きたのかと思っていました。けれども、神様が私を愛してくださり、私を選んでくださって、ここにおいでくださっているのだと知りました。私は牧師の子どもでなければ、私を愛してくださっている神様に会うことができなかつたのです。神様は、私が神様に会うために、牧師の子どもという恵まれたところに選んでおいでくださっていたのです。そして、イエス・キリストはこの世に来てくださって、私が赦されて、神様のもとに戻れるように、私の罪の身代わりに十字架にかかり、その罰を受けてくださったのです。それが父なる神様の愛であることに気づきました。私は、神様から離れていたことを赦してくださいと、悔い改

0.0076 の奇跡

めてイエス・キリストを信じる祈りをささげたのです。

それからの私は、かつての友だちと関わりなくなりました。時にはいじめられることもありましたが、神様は私を見放さず、見捨てませんでした。裏表のない生き方をすることができるようになりました。私は何て恵まれているのでしょうか。そう思えるようになりました。今私がここにいることは0.0076%の奇跡です。そんな私が牧師になりました。牧師の子どもが牧師になるとは、いったい何%の奇跡なのでしょうか。「行って実を結ぶ」ために選ばれた、恵まれた人生に変えられたことを、神様に感謝しています。

素晴らしい可能性

想像してください。吊り橋の向こうに夢のようなガーデンがあることを。幻想的な緑の木々に、色とりどりの花が咲いている。近くに行って散策したい。あそこのベンチに座って憩いたい。でも、不安になってしまいます。この古い吊り橋、大丈夫だろうか。下を見ると奥深い溪谷。渡る勇気がちょっとない。光輝くガーデンを遠目に、留まってしまう。

でも、しばらくたって、勇気を出して吊り橋に立ってみる。一步一步ゆっくり進む。深呼吸しながら吊り橋を渡りきって、光り輝く幻想の世界に足を踏み入れる。風が運ぶほのかな花の香りに心が和

む。遠くで眺めていたのより、何百倍も素晴らしい景色に感動する。

これは、二つの生き方を表しています。一つは、疑いと不安を抱く人生。素晴らしいものを見逃してしまいます。もう一つは、疑いから自由になって、勇気を持って前進し、人生をエンジョイする。

私たち一人ひとりにとって、最も大切なことは、「神をどうみるかだ」と言われます。私たちは、神を考えるとき、疑いと恐れを持ち、遠い存在として考えるでしょうか？ それとも、信頼と開かれた心で考えますか？

今まであなたは、神についてほとんど考えたことがないかもしれません。

でも、もし、神が存在され、良いお方であるなら、素晴らしいことだと思いませんか？ そして、あなたが何も心配しなくて良いなら、心強いことではないでしょうか？ 人生でどんなことが起きても、最後には、それが良いこと、素晴らしいことになるわかっていたら。

神が、すべてのことを最善にしてくださいとしたら、どうでしょう？ 神が、最悪のことを最善に変える力があるとしたら？ そして、神が、あなたの味方であるということに、気づき始めたら、どうなりますか？

今、この神を知ることができたら？
ただ理解するだけではなく、友達や恋人
以上に神を深く知ることができたら、ど
うですか？ 今まで歩んできた人生より
も、もっともっと素晴らしいものがある
のではないかと、心と思いを開いてみま
せんか？

それとも、人生はこんなものだと諦め
て、吊り橋のこちら側に立っていますか？

ここで質問させてください。

心を開いて、一步踏み出しませんか？
もしそうしたいなら、それはいつですか？

今、踏み出すのはどうですか？

この小冊子をあなたに手渡してくれた人に、話してみてください。ずうっと求めていたものを見出す旅に出るチャンスを見逃さないで。日々の生活以上の人生、広く、自由に舞う、冒険を始めませんか？

Concept: NewDayToDay
Design: New Life Ministries
Story: Kenichi Ohashi

Copyright © 2017 NewDayToDay
Printed in Japan



<http://www.mymiracle.jp/>

